

# 開発業務を一段強化

## 科学的根拠追求へ臨床研究スタート

### CD包接α-リポ酸

#### シクロケム

シクロケムは、機能性糖質γ-シクロデキストリン(CD)利用による天然型α-リポ酸包接の独自製剤の機能性を明らかにするため、開発業務を一段と強化する。美肌や生活習慣病関連に対応した健康機能のエビデンス取得に向け、神戸大学医学部中心に協力を得てヒト臨床研究を行い、予防医学的知見に役立つ成果を目指す。食品素材や化粧品原料など多様なアプリケーションを追求し、事業拡大に弾みをつける。

#### 食品素材、化粧品原料など用途展開へ

α-リポ酸は、健康維持に欠かせない体内で作られる成分の1つ。光学異性体が存在し、サプリメント素材として国内ではR体とS体の両方の混

ざったラセミ体として市販されているのがほとんど。このうちR体だけに体内で活性を示すことが知られている。同社が開発したのは、選択的に製造した天然型R体だけをCDに包接した製剤。極めて安定性が高いまま生体に入れることができる。これまで糖尿病による健康障害に対応した実験動物での基礎研究などを推進し、抗酸化・抗糖化といった機能性を調べたほか、C<sub>60</sub>などの同時摂取による運動能力の向上、多くの学術データに基づく成果が挙がっている。

開発業務の強化は、同社をまとめ役に5月下旬開催したミニシンポジウムが契機となったとしている。同シンポには同社と共同研究や素材提供による研究を行う金沢大、京都薬科大、東京理科大などの研究者が集まり、最新の研究成果を踏まえ、CD包接α-リポ酸の開発の方向性を確認。そのコアとなるのがヒト

臨床研究。神戸大大学院医学研究科の坂本憲弘教授を中心に糖尿病、高脂血症、肌改善、運動機能など対象に追求していく。生活習慣病に対する効果や肌の弾力性に関する分子メカニズムの解明など約5年間で複数の案件を手掛ける計画で、実施に向けた準備を進める。活性成分の生体利用能と吸収性の両面から科学的エビデンスを示すことを目指す。また、事業展開ではCD包接製剤を軸とする化粧品原料用途を推進。クリニックと共同で配合化粧品開発も進めている。